

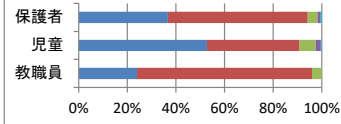
「4」■ そう思う 「3」■ どちらかといえば、そう思う 「2」■ どちらかといえば、そう思わない 「1」■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進		
<p>1 一人一人の児童生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>2 友達への思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>3 道徳・心の教育の充実</p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【1 一人一人の児童生徒の尊重】「3」「4」の割合が教職員は昨年度同様100%であるが、保護者は93%（昨年度96%）、児童は89%（昨年度97%）と昨年度をやや下回った。今後も児童や保護者の思いに寄り添った指導や対応を心掛ける必要がある。【2 友達への思いやり】「3」「4」の割合が保護者は97%、児童は94%とほぼ昨年並み、教職員は昨年同様100%と三者ともに高評価である。今後も継続して「呼び捨てをしない」、「乱暴な言動をしない」等、他者を思いやる心を育むとともに、各学年の発達段階に応じた人権学習を実施していきたい。【3 道徳・心の教育の充実】「3」「4」の割合が保護者は94%（昨年度96%）、教職員は96%（昨年度100%）と二者ともに高評価である。今後も考え議論する道徳の授業づくりの他、学校教育活動全体で心の教育に努めるとともに、親子道徳の日や道徳授業参観を実施したり、学校の取組を学校・学級によりや懇談会で保護者へ発信したりしていきたい。</p>		
②確かな学力を育む教育の推進		
<p>4 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>5 授業力向上</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>6 タブレット活用 NEW</p> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
<p>【4 意欲的な学習態度】三者ともに「3」「4」の割合がほぼ90%超と高評価である。これは下記「授業力向上」「ICT活用」の取組の成果と考えられる。今後も確かな学力を育む教育の推進に努めたい。【5 授業力向上】「3」「4」の割合が保護者は95%（昨年度96%）、児童は90%（昨年度91%）、教職員は100%（昨年度100%）とほぼ昨年同様であった。オンライン授業も含め、教職員の授業力向上のための取組がより高く評価されていると言える。今後さらに「1」「2」と回答した10%（25人）の児童にもわかる喜びを味わわせることができるよう、授業力向上に努めたい。【6 タブレット活用】教師のICT活用から児童のタブレット活用へと変更になった質問項目である。「3」「4」の割合が保護者は91%、児童は92%、教職員は96%であった。今後も継続してタブレットの効果的な活用法や教材づくりについての研修を充実するとともに、家庭学習等でもタブレット活用の機会を増やしていきたい。</p>		
③健やかな体を育む教育の推進		④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実
<p>7 健康づくり</p> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<p>8 児童生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>	<p>【8 児童生徒理解】「3」「4」の割合が保護者は93%（昨年度96%）、児童は85%（昨年度90%）、教職員は昨年度同様100%と、教職員のきめ細やかな対応等の努力は一定の評価はされていると思われる。一方で、「1」「2」と回答した保護者が24人、児童が34人あり、今後も児童一人一人のよさを認め、褒め、励まし、伸ばしていく中で、児童の自尊感情を育てていくとともに、さらに児童生徒理解に努めていきたい。</p>
<p>【7 健康づくり】「3」「4」の割合が保護者は85%（昨年度86%）、児童は74%（昨年度79%）、教職員は80%（昨年度85%）であった。コロナ禍における休校・分散登校等の影響、そして夜更かし等生活リズムの乱れが心配される。問題解決に向けた取組を家庭やPTA等と連携しながら行っていく必要がある。</p>		
④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実		⑤特別支援教育の推進
<p>9 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>10 学校の支援体制</p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<p>11 共生社会を担う人材の育成 NEW</p> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>
<p>【9 いじめや問題への対応】「3」「4」の割合が教職員は昨年度同様100%であり、また保護者は85%（昨年度89%）、児童は昨年同様92%とあまり変わらなかったことから、学校の迅速な対応は一定の評価を得ていると思われる。しかし、「1」「2」と回答した保護者が47人、児童が17人いる点を踏まえ、一人一人の思いを大切に、より迅速かつ丁寧な対応・報告を心がける必要がある。【10 学校の支援体制】例年高く評価されており、「3」「4」の割合が保護者は93%（昨年度96%）、教職員は96%（昨年度100%）である。これは特別支援コーディネーターを中心とした学級担任と学級支援員等との連携等の成果であると思われる。また必要に応じて心のサポート相談員、SC、SSW、外部の関係機関とも連携しており、今後も組織的に対応していきたい。【11 共生社会を担う人材の育成】今回新しく追加された項目である。「3」「4」の割合が保護者は92%、児童は89%、教職員は100%といずれも高い評価であった。経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ貴重な機会として、今後も交流及び共同学習の充実に努めたい。</p>		

①子どもたちの身近な安全対策の充実

12 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

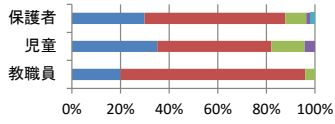


「3」「4」の割合が保護者は94%（昨年度95%）、児童は91%（昨年度92%）、教職員は96%（昨年度100%）と高評価であり、学校の安全教育への取組や青パト隊による放課後パトロール等が高く評価されていると言える。今後も学校安全計画に基づいた安全教育のさらなる充実、必要に応じて学校安全計画の見直し等を行うことで、事故防止に努めたい。

②最適な学習環境の整備

13 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

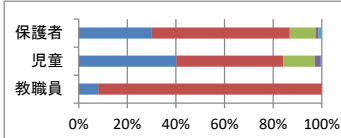


「3」「4」の割合が保護者は88%（昨年度90%）、児童は82%（昨年度88%）、教職員は96%（昨年度97%）であり、日常・定期的な安全点検及び修繕のい成果は見られる。一方で、「1」「2」と回答した児童・保護者はそれぞれ40人を超す。今後も日常・定期的な安全点検の充実を図り、施設・設備の安全管理に努めたい。

③家庭・地域社会との連携強化

14 教育方針・目標の理解

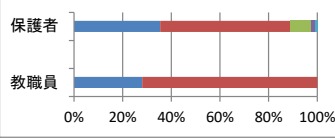
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



【14 教育方針と目標の理解】「3」「4」の割合が保護者は87%（昨年度94%）、児童は84%（昨年度89%）、教職員は100%（昨年度97%）である。全体として高い評価を得ている一方で、「1」「2」と回答した児童が15%（47人）、保護者が12%（47人）あり、今後、学校や学級目標・教育目標等をわかりやすく効果的に伝える工夫が必要である。
【15 家庭や地域との連携協力】「3」「4」の割合が保護者は89%（昨年度93%）、教職員は昨年度同様100%と高評価であった。特に、今年度もコロナ禍において、以前と同様には実施できなかったものの、感染症対策を講じつつ工夫しながら各種行事を実施したり、家庭や地域と連携した取組を行ってきた成果であると思われる。今後も、地域に応じた特色ある教育活動をすすめていきたい。

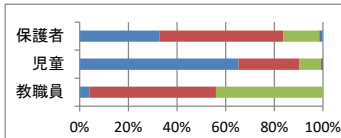
15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



16 あいさつ

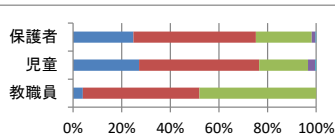
子どもは、地域や学校であいさつができていますか。



※今回も、3項目とも「4 そう思う」と回答した割合が、児童、保護者、教職員の順に高く、また三者の評価の差が特に大きい。コロナ禍の影響も十分考えられるが、基本的な生活習慣の定着のため、家庭・地域・学校が連携して取組を行う必要性を強く感じる。
【16 挨拶の励行】「3」「4」の割合が保護者は84%（昨年度86%）、児童は90%（昨年度93%）と高い一方で、教職員は56%（昨年度85%）と一昨年に近い低い評価となった。今後、学校を挙げて日常的なあいさつの推進、児童会を中心としたあいさつ運動等に取り組む必要がある。
【17 公共心・勤労・奉仕】「3」「4」の割合が保護者は75%（昨年度77%）、児童は昨年同様77%と同程度であるが、教職員は52%（昨年度76%）と低い評価である。今後も継続して靴やトイレのスリッパをそろえることの習慣化や無言掃除の推進、落ち葉はき等ボランティアの推進に努めていきたい。
【18 規律】「3」「4」の割合が保護者は87%（昨年度85%）、児童は83%（昨年度90%）と同程度であるが、教職員は68%（昨年度88%）と低い評価である。時間を守る、ルールを守る等は、自他の安全を守り、人に迷惑をかけるないためにも必要不可欠である。登下校の様子や放課後の遊び方について、今年度も地域住民等からの苦情が少なく、その都度対応している。今後も、教職員・児童・保護者間で成果と課題を共有しながら、家庭や地域と連携して児童の規範意識を高めていきたい。

17 公共心・勤労・奉仕

子どもは、学校で、はきものそろえや無言掃除やボランティアができていますか。



18 規律

子どもは、きまり（宿題をする、時間を守る、やっつけいけないことをしない）を守っていると思いますか。

